

令和5年5月16日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

議会広報広聴常任委員長 西 尾 寿 樹

委員派遣結果報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和5年4月24日（月）

2. 場 所

鳥取県八頭郡智頭町大字智頭1795番地1「ひまわり会館」

3. 内 容

出前広報（森のミニディ 杉の郷 広聴）

4. 目 的

地域に出向いて議会だよりを基に議会活動を積極的に発信し、かつ町民の声をより多く聴き、町政に反映する活動を進める。

5. 派遣委員

岡田光弘議員、田中賢議員、波多恵理子議員、大河原昭洋議員

6. 所 感 等

ひまわり会館で行われている森のミニディ「杉の郷」に出前広報で伺った。ミニディ参加者11名と関係者の皆様4名の方に議会活動や議会だよりの説明を行い、参加者からの質疑を受けた。令和5年4月から本格運行が始まった共助交通に関する意見要望が多くあり、大半が予約を面倒に感じたり、自宅まで来てもらえないことを不便に思われたりと、告知端末の操作など新しいシステムに慣れることのできない不満と不安を口にされた。できれば小さな車でいいので定時定路線を一日3便走らせてほしい、各地区振興協議会にワンボックスカーにおいては

どうか等の意見や、このままでは高齢者の閉じこもりも増え、若者もさらに町外に出ていくのではと心配される方、今までバス利用者がバスの待ち時間に買物をしていたが、バス廃止により商店街を利用される人が減ったとの声もあった。

共助交通システムがより改善され、一定の落ち着きをみるまでは、シルバー人材センターが行っている交通空白地有償運送業務を延長していくことも必要だと思う。

加えて、特に一人暮らしの高齢者の方が、将来を不安に思わず暮らせる福祉システムの構築も喫緊に取り組むべき課題であると感じた。

今後も一人でも多くの方の声を聞くためにも議会として様々な場所に出向き、誰ひとり取り残さない智頭町をつくりあげていく努力を重ねていきたいと思う。